

国内自転車生産・輸出入状況（平成29年1～3月）

1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せ我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

平成29年1～3月期の生産状況は、「電動アシスト車」の生産が僅かに増加したものの「軽快車」と「その他」の生産が減少したため、台数及び金額とも全体で前年同期を下回っている。一方平成29年1～3月期の輸入状況については、前年同期に比べ総輸入台数、総輸入金額ともに減少し、輸入平均単価も下落した。車種別にみると全ての車種で前年同期に比べ輸入台数及び輸入金額が減少した。これらの結果、生産台数に輸入台数を加えた国内向け数量は、過去12年間で最低となっている。

2. 我が国の自転車生産

2-1 平成29年1～3月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、平成29年1～3月の我が国の完成自転車生産台数は248,119台、完成自転車生産金額は142億9,700万円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は6.5%減、総生産金額も3.4%減と台数・金額とも減少している。また平成29年1～3月の完成自転車生産平均単価は57,622円となっており、前年同期の55,799円から3.3%上昇した。これらの模様を表1に示す。

表1 平成29年1～3月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成29年1～3月	248,119	14,297	57,622
平成28年1～3月	265,325	14,805	55,799
変化	-17,206	-508	1,822
変化%	-6.5%	-3.4%	3.3%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成29年1～3月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。「電動アシスト車」の生産台数だけが僅かに増加したものの、「軽快車」と「その他」は減少していることがわかる。

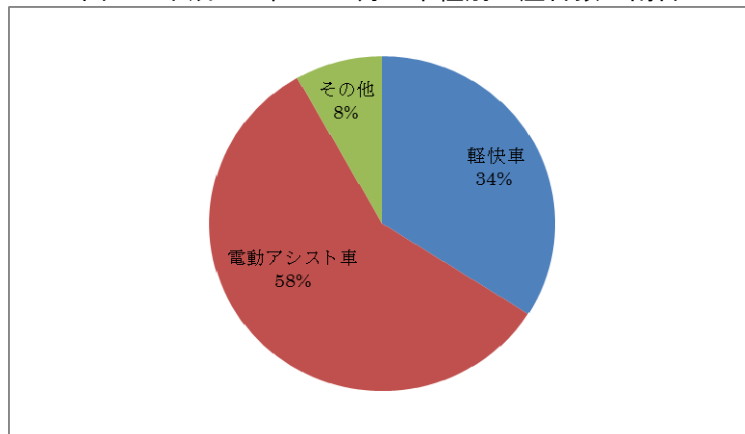
表2 車種別生産状況 平成29年1～3月と平成28年1～3月との比較

1～3月	平成29年		平成28年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	84,530	2,471	101,751	2,831	-17,221	-16.9	-360	-12.7
電動アシスト車	143,269	11,262	140,426	11,301	2,843	2.0	-39	-0.3
その他	20,320	564	23,148	672	-2,828	-12.2	-108	-16.1
計	248,119	14,297	265,325	14,805	-17,206	-6.5	-508	-3.4

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に平成29年1～3月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が58%を占め、次いで「軽快車」が34%を占めている。

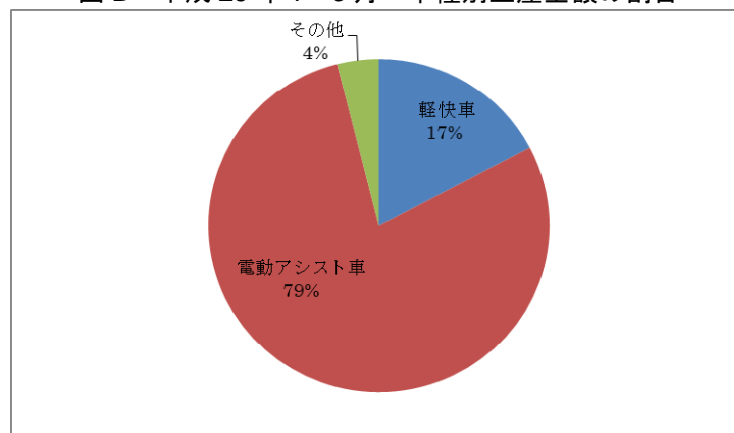
図A 平成29年1～3月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成29年1～3月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が79%を占めている。

図B 平成29年1～3月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成29年1～3月と平成28年1～3月とを比較した表3を示す。「軽快車」が上昇している一方で、「電動アシスト車」と「その他」は下落している。

表3 車種別生産平均単価 平成29年1～3月と平成28年1～3月との比較

車種	平成29年1～3月 生産平均単価(円)	平成28年1～3月 生産平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	29,232	27,823	1,409	5.1
電動アシスト車	78,607	80,477	-1,869	-2.3
その他	27,756	29,031	-1,275	-4.4
計	57,622	55,799	1,822	3.3

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表4の通りとなる。生産台数は毎月前年同月に比べ増加しているものの、生産金額は減少傾向にあり、このことから平均単価は各月とも下落していることがわかる。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成29年と平成28年との比較

	平成29年			平成28年			生産台数 の変化 (台)	生産金額 の変化 (百万円)	平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)			
1月	42,881	3,354	78,216	41,742	3,430	82,171	1,139	-76	-3,955
2月	45,846	3,599	78,502	45,270	3,612	79,788	576	-13	-1,286
3月	54,542	4,309	79,003	53,414	4,259	79,736	1,128	50	-732
1～3月	143,269	11,262	78,607	140,426	11,301	80,477	2,843	-39	-1,869

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成29年1～3月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
平成29年1～3月と平成28年1～3月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			3月末在庫 (台)
	台数	金額(百万円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(百万円)		
平29.1～3 軽快車	84,530	2,471	226,190	222,011	4,225	111,094	62,528
平28.1～3 軽快車	101,751	2,831	244,364	242,653	4,654	123,936	65,019
変化 %	-16.9	-12.7	-7.4	-8.5	-9.2	-10.4	-3.8
平29.1～3 電動アシスト車	143,269	11,262	129,158	170,563	13,056	116,588	23,989
平28.1～3 電動アシスト車	140,426	11,301	102,623	146,241	10,908	102,356	22,731
変化 %	2.0	-0.3	25.9	16.6	19.7	13.9	5.5
平29.1～3 その他	20,320	564	110,774	89,790	2,077	28,084	46,444
平28.1～3 その他	23,148	672	116,033	89,797	2,112	29,478	49,195
変化 %	-12.2	-16.1	-4.5	-0.0	-1.7	-4.7	-5.6
平29.1～3 全車種計	248,119	14,297	466,122	482,364	19,359	255,766	132,961
平28.1～3 全車種計	265,325	14,805	463,020	478,691	17,673	255,770	136,945
変化 %	-6.5	-3.4	0.7	0.8	9.5	-0.0	-2.9

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成28年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、平成29年1～3月の全車種の「受入」台数は平成28年1～3月の「受入」台数に比べ0.7%増加した。「軽快車」と「その他」が減少している一方で、「電動アシスト車」が大きく増加している。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成29年1～3月の全車種の「出荷・販売」台数は平成28年1～3月のそれに比べ0.8%増加した。「電動アシスト車」が大きく増加している。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は9.5%増加した。やはり「電動アシスト車」が大きく増加した一方で「軽快車」と「その他」は減少している。

平成29年1～3月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成28年1～3月のそれと同水準であった。「電動アシスト車」が増加した一方で「軽快車」と「その他」は減少している。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成29年3月の全車種の「月末在庫」台数は132,961台で、前年同月と比べ2.9%減少した。

2-3 1～3月の生産状況の過去12年間の推移

表6に平成18年から平成29年まで過去12年間の毎年1～3月の我が国の自転車生産、出荷及び3月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～3月の自転車生産・出荷
及び3月末在庫の過去12年間の推移

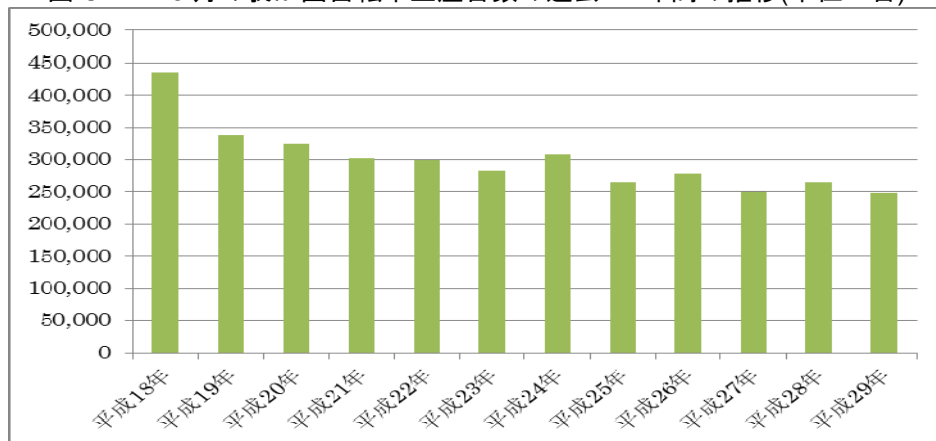
1～3月	生産			出荷			3月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成29年	248,119	14,297	57,622	482,364	19,359	40,134	132,961
平成28年	265,325	14,805	55,799	478,691	17,673	36,919	136,945
平成27年	249,855	12,157	48,656	462,299	15,813	34,205	135,542
平成26年	278,336	13,390	48,107	580,585	17,708	30,500	128,442
平成25年	264,751	11,572	43,709	565,284	15,672	27,724	204,761
平成24年	308,426	12,688	41,138	812,892	18,481	22,735	213,991
平成23年	283,461	11,345	40,023	890,844	19,097	21,437	143,353
平成22年	299,871	10,345	34,498	857,346	17,167	20,023	197,543
平成21年	302,897	9,138	30,169	887,807	16,529	18,618	201,479
平成20年	324,543	7,698	23,720	1,016,304	15,574	15,324	215,025
平成19年	338,671	7,117	21,014	1,069,225	14,114	13,200	214,321
平成18年	435,978	8,134	18,657	1,188,506	14,653	12,329	238,679

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年以前の数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成29年1～3月の「生産台数」は、過去12年間で最低となっている。一方、「生産金額」は過去12年間で2番目となっている。これらのことから「生産平均単価」は過去12年間で最高である。また平成29年1～3月の「出荷台数」は過去12年間で10番目、「出荷金額」は過去12年間で最高であった。「出荷平均単価」は過去12年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が12年間一貫して高くなっている。「3月末在庫台数」は132,961台で、過去12年間で11番目となっている。

表6を基に平成18年から平成29年までの過去12年間の毎年1～3月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は減少傾向にある。

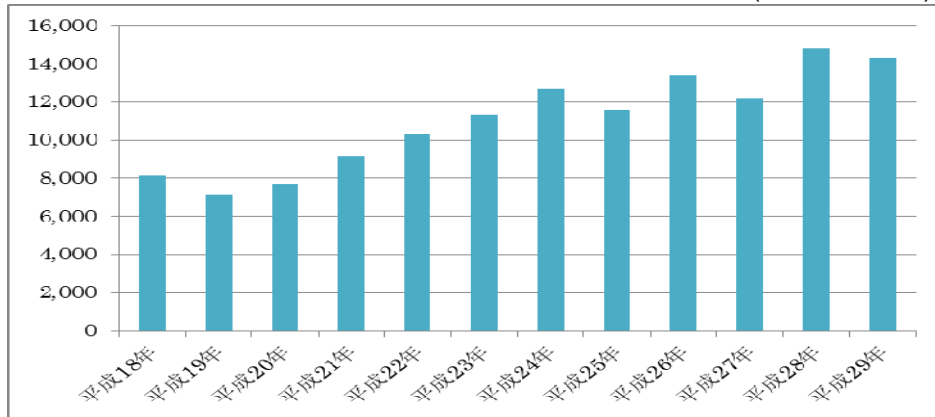
図C 1～3月の我が国自転車生産台数の過去12年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成18年から平成29年までの過去12年間の毎年1～3月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。

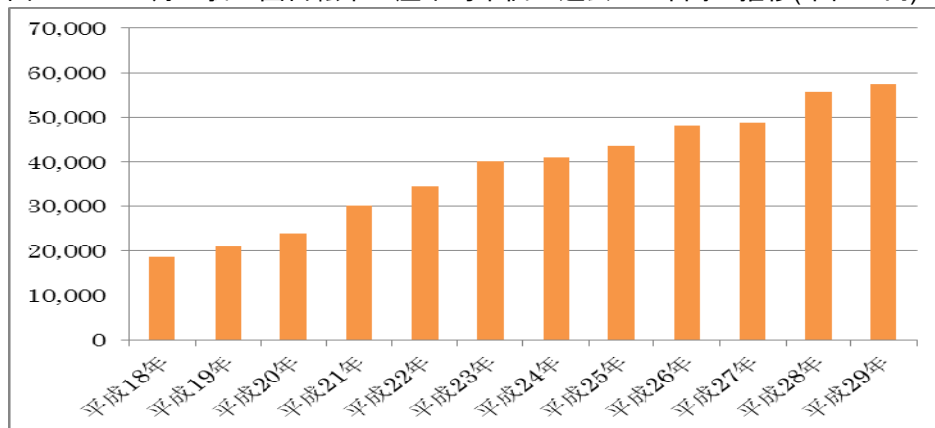
図 D 1～3月の我が国自転車生産金額の過去12年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表6を基に平成18年から平成29年までの過去12年間の毎年1～3月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図Eである。生産平均単価は上昇傾向にあることがわかる。

図 E 1～3月の我が国自転車生産平均単価の過去12年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去12年間の推移を表7に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去12年間の推移（単位：台）

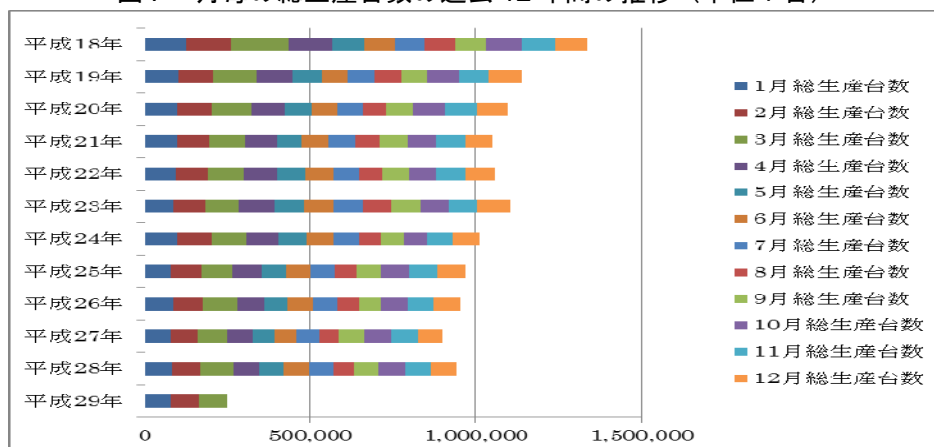
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
平成29年	79,215	86,276	82,628			
平成28年	82,586	88,069	94,670	81,062	72,186	78,781
平成27年	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
平成26年	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
平成25年	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
平成24年	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
平成23年	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
平成22年	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
平成21年	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
平成20年	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
平成19年	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
平成18年	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
平成29年							248,119
平成28年	71,533	64,278	71,472	82,749	76,539	75,100	939,025
平成27年	64,647	62,481	74,354	82,311	79,144	75,095	898,095
平成26年	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
平成25年	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
平成24年	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
平成23年	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
平成22年	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
平成21年	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
平成20年	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
平成19年	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
平成18年	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
平成28年以前の数値は改定値

表7の月毎の総生産台数の過去12年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図F 月毎の総生産台数の過去12年間の推移（単位：台）



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に1～3月の車種別の生産台数の過去12年間の推移を表8に示す。

表8 1～3月の車種別生産台数の過去12年間の推移（単位：台）

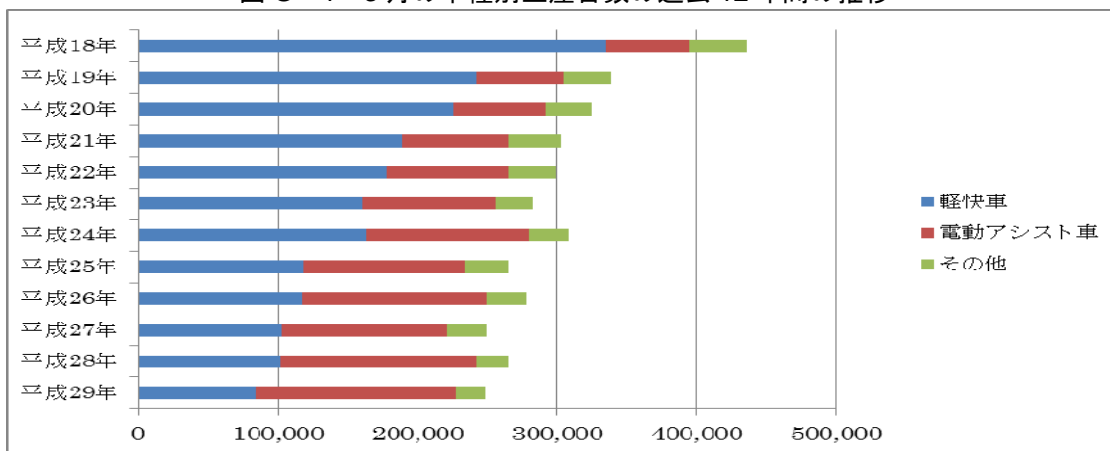
年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
平成29年	84,530	143,269	20,320	248,119
平成28年	101,751	140,426	23,148	265,325
平成27年	102,324	118,751	28,780	249,855
平成26年	116,929	132,842	28,565	278,336
平成25年	118,317	116,175	30,259	264,751
平成24年	163,515	116,341	28,570	308,426
平成23年	160,600	95,370	27,491	283,461
平成22年	178,147	87,177	34,547	299,871
平成21年	189,774	74,861	38,262	302,897
平成20年	226,210	66,077	32,256	324,543
平成19年	242,133	62,966	33,572	338,671
平成18年	335,501	59,170	41,307	435,978

平成23年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。平成18年から平成22年までの「その他」の数値は、これら4区分の合計数値。

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表8に示した1～3月の車種別の生産台数の過去12年間の推移をグラフにより示したものが図Gである。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している様様が示されている。

図G 1～3月の車種別生産台数の過去12年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、「その他のモーターサイクル」の中に含まれている。しかし「その他のモーターサイクル」には、関税区分上の上位各区分に該当しない各種モーターサイクルや電動オートバイ等も含まれているので注意が必要である。

表9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.90000 その他のモーターサイクル	・その他のモーターサイクル、補助原動機付きの自転車、及びサイドカー。電動アシスト車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

3-1 平成29年1～3月の輸入状況の概要

表10は、平成29年1～3月の「その他のモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は2,152,214台となり前年同期から6.4%減少した。一方、総CIF金額は236億3,108万円となり前年同期比13.8%減少した。これらの結果、平均CIF単価は10,980円となり前年同期比7.9%下落している。

尚、この間のドル円為替レートを見ると、平成28年1～3月の平均レートはUS1\$=JPY116.68であったのに対し、平成29年1～3月の平均レートはUS1\$=JPY115.86(ともに税関長公示レートを参考にした)であり、為替レートに大きな変化はみられなかった。この事から平成29年1～3月の前年同期と比較した輸入状況の変化は、為替レートに起因したものとは言えない。全体の輸入規模が縮小する中で、各々の車種区分において低価格化が同時に進行した結果と言えるのではないかとと思われる。

表10 平成29年1～3月の我が国の自転車輸入 平成28年1～3月との比較
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成29年1～3月	2,152,214	23,631,080	10,980
平成28年1～3月	2,299,150	27,404,625	11,919
変化	-146,936	-3,773,545	-940
変化%	-6.4	-13.8	-7.9

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

参考まで平成29年1～3月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。

表 10 附表 参考 平成 29 年 1～3 月の我が国の
「その他のモーターサイクル」の輸入 平成 28 年 1～3 月との比較

	総台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 29 年 1～3 月	11,458	319,511	27,885
平成 28 年 1～3 月	16,037	521,112	32,494
変化	-4,579	-201,601	-4,609
変化 %	-28.6	-38.7	-14.2

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-2 平成 29 年 1～3 月の車種別輸入状況

表 11 は平成 29 年 1～3 月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 11 平成 29 年 1～3 月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	41,043	808,714	19,704
8712.00211 ミニサイクル	48,250	665,505	13,793
8712.00218 幼児車	123,580	927,740	7,507
8712.00219 子供車	471,346	4,309,465	9,143
8712.00291 軽快車	709,321	6,989,251	9,853
8712.00299 その他	758,674	9,930,405	13,089
計	2,152,214	23,631,080	10,980

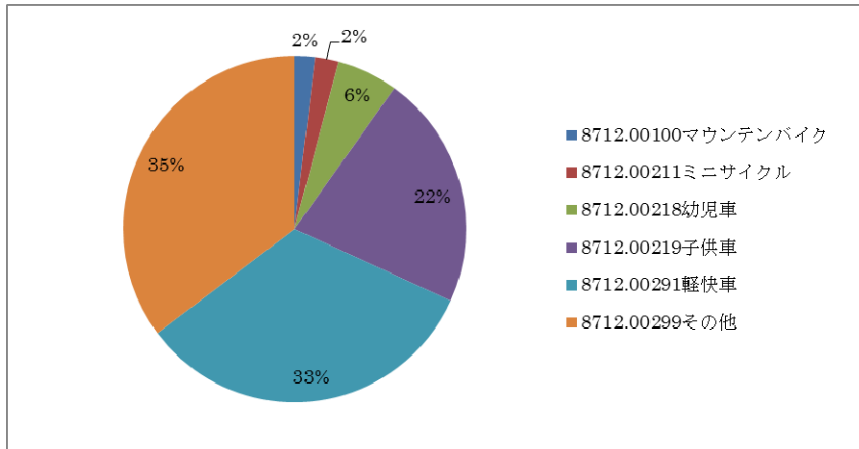
8711.90000 その他のモーターサイクル	11,458	319,511	27,885
-------------------------	--------	---------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 19,704 円と「その他のモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」は、スポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれる 8712.00299 「その他」に次いで台数が多くなっている。平均 CIF 単価は 9,853 円である。その 8712.00299 「その他」は、台数が最も多いほか、総 CIF 金額も各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 13,089 円である。尚「その他」の平均 CIF 単価は、前回報告した平成 28 年 1～12 月の 15,301 円から大きく下落している。

表 11 を基に、平成 29 年 1～3 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「その他」が 35%、「軽快車」が 33%を占めている。

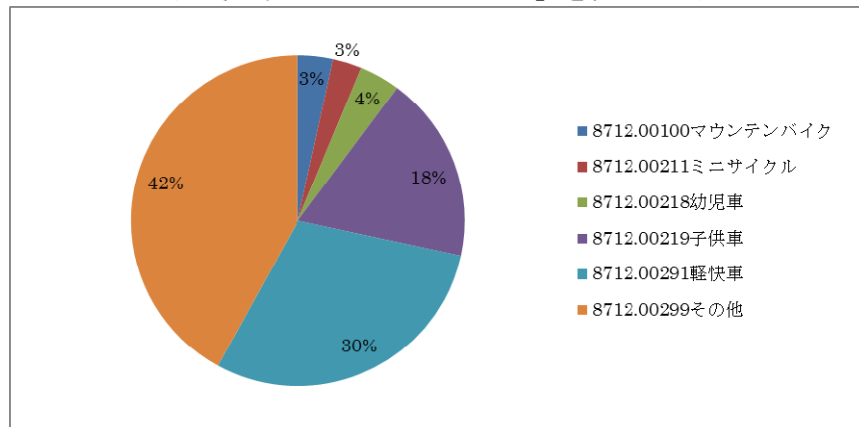
図 H 平成 29 年 1～3 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、平成 29 年 1～3 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 42%、「軽快車」が 30%を占めている。

図 I 平成 29 年 1～3 月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 2 は平成 29 年 1～3 月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。全ての車種で台数及び金額が減少していることが示されているが、比較的高価な車種において、台数に比べ金額の減少割合が高くなっていることも見て取れる。

表 1 2 我が国の車種別自転車輸入 平成 29 年 1～3 月と平成 28 年 1～3 月との比較

1～3 月 車種	平成 29 年		平成 28 年		変化 %	
	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額
8712.00100 マウンテンバイク	41,043	808,714	46,036	1,056,224	-10.8%	-23.4%
8712.00211 ミニサイクル	48,250	665,505	53,357	737,989	-9.6%	-9.8%
8712.00218 幼児車	123,580	927,740	152,269	1,107,176	-18.8%	-16.2%
8712.00219 子供車	471,346	4,309,465	479,142	4,610,434	-1.6%	-6.5%
8712.00291 軽快車	709,321	6,989,251	799,569	8,270,990	-11.3%	-15.5%
8712.00299 その他	758,674	9,930,405	768,777	11,621,812	-1.3%	-14.6%
計	2,152,214	23,631,080	2,299,150	27,404,625	-6.4%	-13.8%
平均単価(円)		10,980		11,919		-7.9%
8711.90000 その他のモーター サイクル	11,458	319,511	16,037	521,112	-28.6%	-38.7%
平均単価(円)		27,885		32,494		-14.2%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-3 1～3 月の輸入状況の過去 15 年間の推移

表 1 3 は毎年 1～3 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移を示したものである。

表 1 3 毎年 1～3 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移 全車種
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

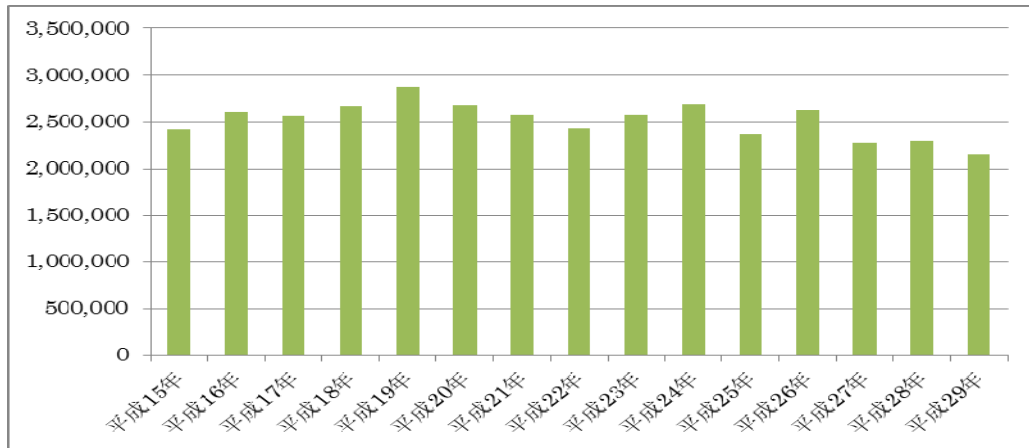
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 29 年	2,152,214	23,631,080	10,980
平成 28 年	2,299,150	27,404,625	11,919
平成 27 年	2,277,256	30,021,500	13,183
平成 26 年	2,626,492	28,479,177	10,843
平成 25 年	2,373,370	23,483,404	9,895
平成 24 年	2,695,555	22,695,025	8,419
平成 23 年	2,580,156	20,269,931	7,856
平成 22 年	2,428,569	19,462,552	8,014
平成 21 年	2,576,224	22,705,053	8,813
平成 20 年	2,684,045	22,666,563	8,445
平成 19 年	2,877,065	23,273,025	8,089
平成 18 年	2,670,732	19,943,370	7,467
平成 17 年	2,563,991	16,336,547	6,372
平成 16 年	2,603,967	15,845,606	6,085
平成 15 年	2,414,612	16,396,236	6,790

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 29 年 1～3 月の総輸入台数は、過去 15 年間で最少である。一方、平成 29 年 1～3 月の総 CIF 金額は過去 15 年間で 4 番目の多さである。平均 CIF 単価は 10,980 円となり、過去 15 年間で 3 番目となっている。

表 1 3 を基に平成 15 年から平成 29 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 J である。

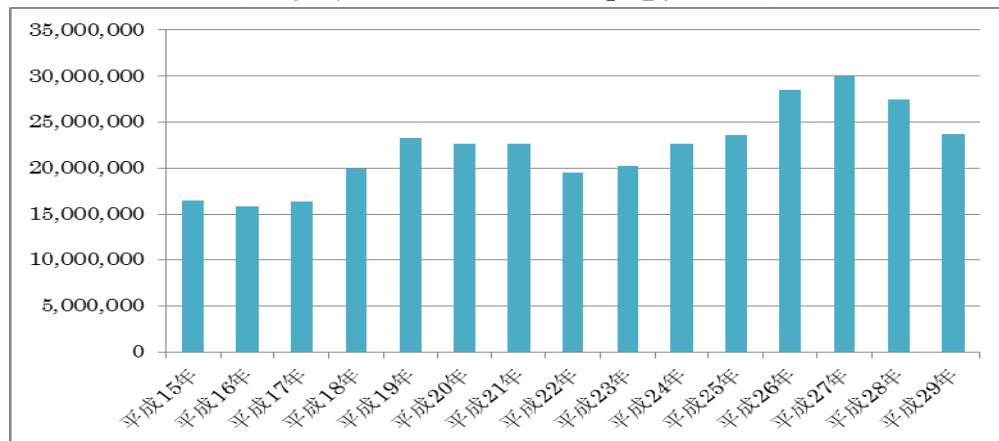
図 J 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入総台数の過去 15 年間の推移(単位：台)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に平成 15 年から平成 29 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K ある。

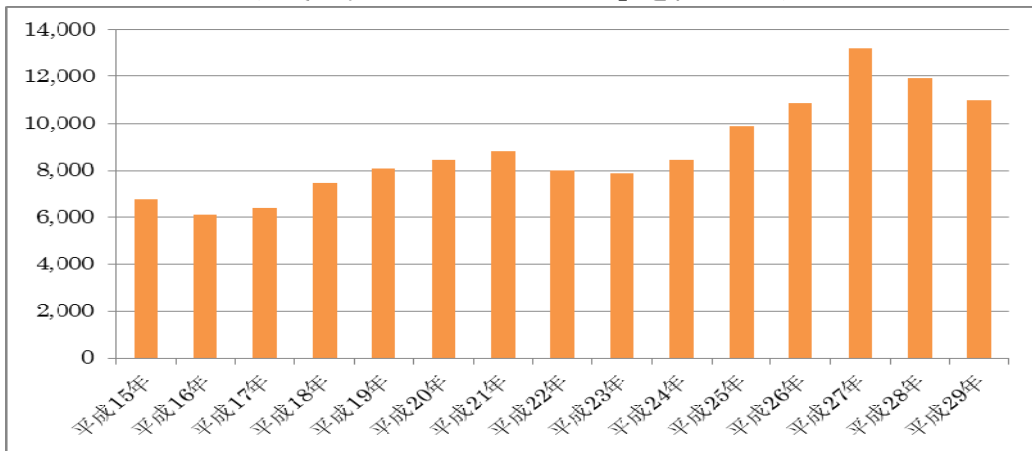
図 K 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に平成 15 年から平成 29 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～3 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 月毎の総輸入台数(「その他のモーターサイクル」を含まない)
 の過去 15 年間の推移 (単位：台)

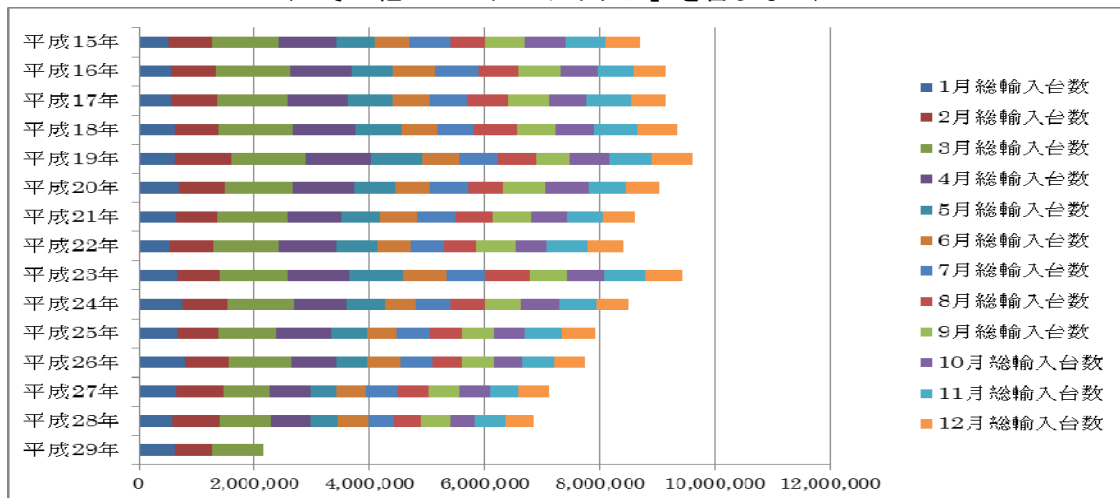
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成 29 年	608,232	654,624	889,358			
平成 28 年	559,379	823,009	916,762	673,000	493,419	507,531
平成 27 年	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
平成 26 年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成 25 年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成 24 年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成 23 年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成 22 年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成 21 年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成 20 年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成 19 年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成 18 年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成 17 年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成 16 年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成 15 年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	総輸入台数
平成29年							2,152,214
平成28年	460,740	464,093	509,475	438,628	518,622	484,729	6,849,387
平成27年	556,279	542,763	524,133	519,919	484,170	554,615	7,122,444
平成26年	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
平成25年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成24年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成23年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成22年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成21年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成20年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成19年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成18年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成17年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成16年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成15年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表14の月毎の総輸入台数の過去15年間の推移をグラフにより示したものが図Mである。

図M 月毎の総輸入台数の過去15年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表15は、毎年1～3月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去15年間の推移について示したものである。

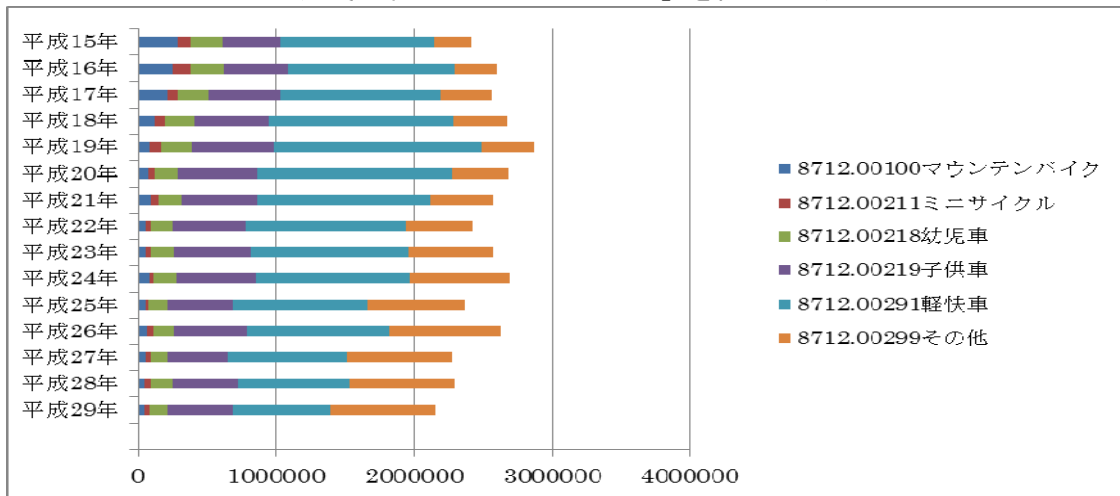
表 15 毎年1～3月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去15年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成29年	41,043	48,250	123,580	471,346	709,321	758,674	2,152,214
平成28年	46,036	53,357	152,269	479,142	799,569	768,777	2,299,150
平成27年	57,459	36,331	115,495	441,698	857,838	768,435	2,277,256
平成26年	73,179	40,807	152,613	522,810	1,029,951	807,132	2,626,492
平成25年	57,955	18,262	131,559	474,305	982,149	709,140	2,373,370
平成24年	87,062	24,657	171,652	565,515	1,119,749	726,920	2,695,555
平成23年	63,603	33,548	164,291	551,849	1,150,866	615,999	2,580,156
平成22年	59,489	38,452	156,636	530,318	1,160,841	482,833	2,428,569
平成21年	97,986	50,097	165,108	551,110	1,258,515	453,408	2,576,224
平成20年	78,379	47,352	167,448	563,993	1,416,437	410,436	2,684,045
平成19年	88,125	75,520	231,083	591,808	1,503,365	387,164	2,877,065
平成18年	121,249	75,377	215,316	537,198	1,334,396	387,146	2,670,682
平成17年	219,677	72,011	219,366	518,450	1,166,989	367,498	2,563,991
平成16年	257,211	120,358	247,804	464,691	1,202,050	311,853	2,603,967
平成15年	288,655	86,808	235,896	419,564	1,113,661	270,028	2,414,612

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図Nのようになる。

図 N 毎年1～3月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去15年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に参考まで毎年1～3月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去15年間の推移を表16に示す。

表16 参考 毎年1～3月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去15年間の推移

年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
平成 29 年	11,458	319,511	27,885
平成 28 年	16,037	521,112	32,494
平成 27 年	11,581	461,264	39,829
平成 26 年	15,612	616,140	39,466
平成 25 年	17,521	569,147	32,484
平成 24 年	8,647	265,723	30,730
平成 23 年	17,960	447,823	24,934
平成 22 年	22,485	551,192	24,514
平成 21 年	18,255	428,308	23,463
平成 20 年	15,102	352,605	23,348
平成 19 年	14,080	482,264	34,252
平成 18 年	17,245	336,069	19,488
平成 17 年	23,683	410,785	17,345
平成 16 年	33,646	438,920	13,045
平成 15 年	57,169	519,573	9,088

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

平成29年1～3月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表17である。

表17 平成29年1～3月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合(%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合(%)	平均 CIF 単価(円)
中華人民共和国	2,111,929	98.1	21,407,234	90.6	10,136
台湾	35,883	1.7	1,815,774	7.7	50,603
その他	4,402	0.2	408,072	1.7	92,701
計	2,152,214	100.0	23,631,080	100.0	10,980

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の98.1%、総CIF金額の90.6%を占めている。平均CIF単価は10,136円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の1.7%、総CIF金額の7.7%を占めている。平均CIF単価は50,603円である。これまでに比べ「中華人民共和国」からの輸入割合が一段と増え、「台湾」からの輸入割合が減少している。これら2つの国・地域で総台数の99.8%、総CIF金額の98.3%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表18のようになっている。

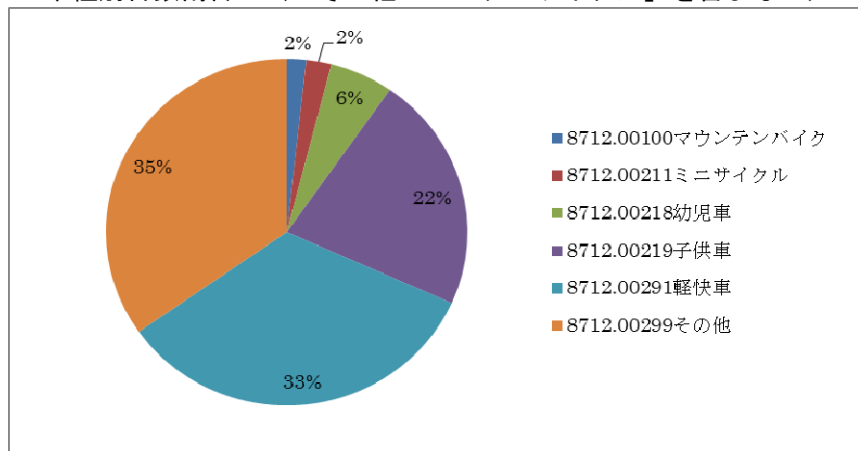
表18 平成29年1～3月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額 (千円)	平均CIF単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	36,575	564,550	15,435
8712.00211 ミニサイクル	47,543	627,405	13,197
8712.00218 幼児車	120,057	834,785	6,953
8712.00219 子供車	465,561	4,197,392	9,016
8712.00291 軽快車	708,529	6,966,037	9,832
8712.00299 その他	733,664	8,217,065	11,200
計	2,111,929	21,407,234	10,136

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した平成29年1～3月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Oである。これまでは「軽快車」の占める割合が一番多かったが、今回は「その他」が35%を占め最も多くなり、次いで「軽快車」が33%を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図Hと似た状態が示されている。

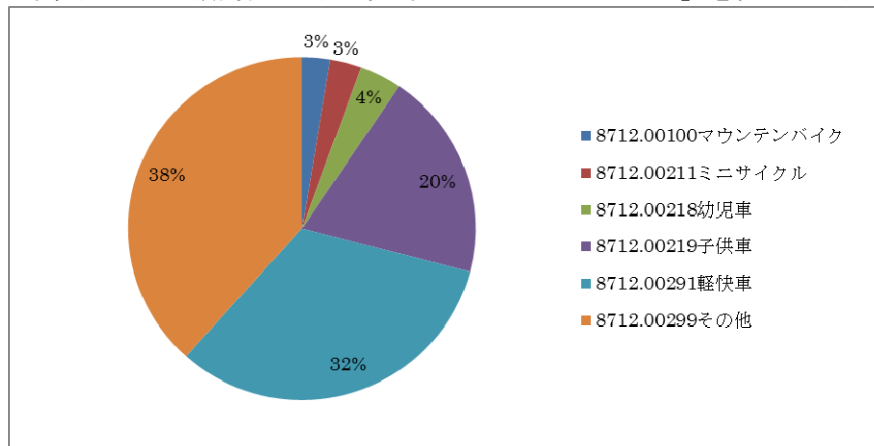
図O 平成29年1～3月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別台数割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表18に示した平成29年1～3月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Pである。「その他」が38%を占め、次いで「軽快車」が32%を占めている。

図 P 平成 29 年 1～3 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別 CIF 金額割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表 19 のようになっている。

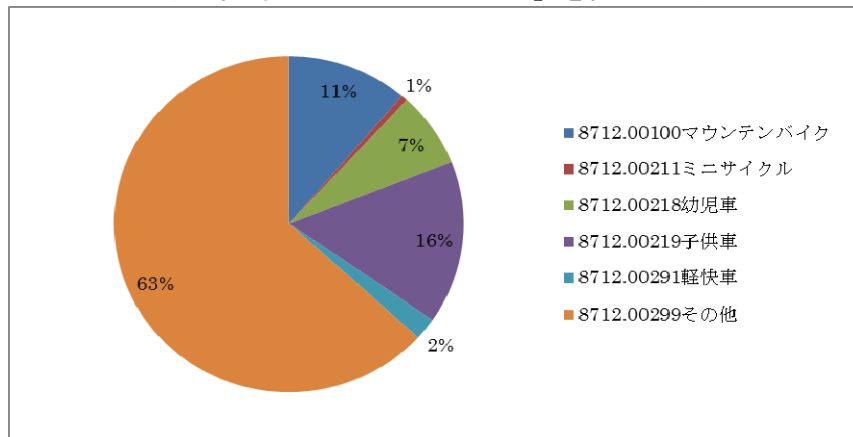
表 19 平成 29 年 1～3 月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	4,013	192,757	48,033
8712.00211 ミニサイクル	212	5,247	24,750
8712.00218 幼児車	2,591	15,545	6,000
8712.00219 子供車	5,631	105,547	18,744
8712.00291 軽快車	751	21,493	28,619
8712.00299 その他	22,685	1,475,185	65,029
計	35,883	1,815,774	50,603

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 19 に示した平成 29 年 1～3 月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 Q である。全体の輸入状況を表した図 H や「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図 O とは異なり、「その他」が 63% と大きな割合を占め、次いで「マウンテンバイク」が 11% を占めている。一方で、「軽快車」は僅か 2% を占めるにすぎない状況となっている。

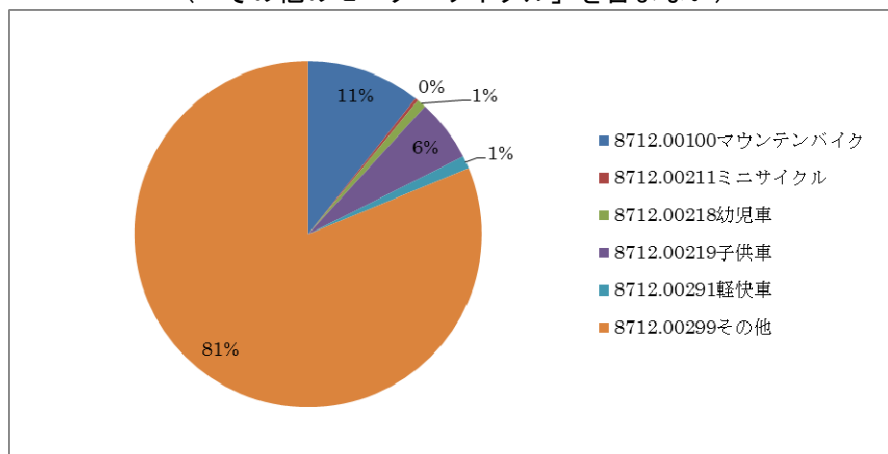
図 Q 平成 29 年 1～3 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 19 に示した平成 29 年 1～3 月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 R である。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が 81% を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が 11% を占め、「軽快車」は僅か 1% である。

図 R 平成 29 年 1～3 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで平成 29 年 1～3 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表 20 に示す。

表 20 参考 平成 29 年 1～3 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の
輸入主要供給元 平成 28 年 1～3 月との比較

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
平 29.1～3 中華人民共和国	11,416	99.6	298,976	93.6	26,189
平 28.1～3 中華人民共和国	15,598	97.3	412,665	79.2	26,456
変化	-4,182	2.4	-113,689	14.4	-267
平 29.1～3 台湾	8	0.1	589	0.2	73,625
平 28.1～3 台湾	354	2.2	65,085	12.5	183,856
変化	-346	-2.1	-64,496	-12.3	-110,231
平 29.1～3 その他	34	0.3	19,946	6.2	586,647
平 28.1～3 その他	85	0.5	43,362	8.3	510,141
変化	-51	-0.2	-23,416	-2.1	76,506
平 29.1～3 計	11,458	100.0	319,511	100.0	27,885
平 28.1～3 計	16,037	100.0	521,112	100.0	32,494
変化	-4,579	0.0	-201,601	0.0	-4,609

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年 1～3 月の「国内向け数量」について、生産台数と輸入台数の相互比較が可能な過去 12 年間の推移を表 21 に示す。平成 29 年 1～3 月期の国内向け数量は 2,400,333 台で、過去 12 年間で最低となった。また国内生産比率は 10.3%であった。

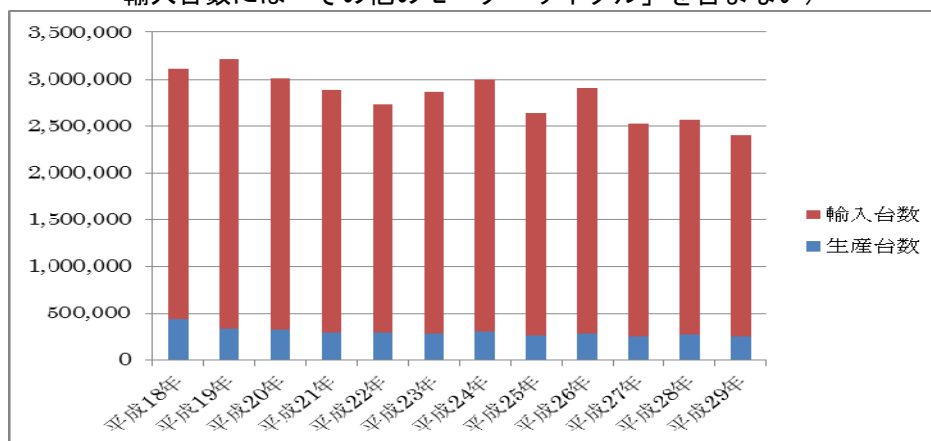
表 21 毎年 1～3 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 12 年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成 29 年	248,119	2,152,214	2,400,333	10.3
平成 28 年	265,325	2,299,150	2,564,475	10.3
平成 27 年	249,855	2,277,256	2,527,111	9.9
平成 26 年	278,336	2,626,492	2,904,828	9.6
平成 25 年	260,757	2,373,370	2,634,127	9.9
平成 24 年	308,426	2,695,555	3,003,981	10.3
平成 23 年	283,461	2,580,156	2,863,617	9.9
平成 22 年	299,871	2,428,569	2,728,440	11.0
平成 21 年	302,897	2,576,224	2,879,121	10.5
平成 20 年	324,543	2,684,045	3,008,588	10.8
平成 19 年	338,671	2,877,065	3,215,736	10.5
平成 18 年	435,978	2,670,682	3,106,660	14.0

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 28 年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図 S である。

図 S 毎年 1～3 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 12 年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 28 年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成 29 年 1～3 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 2 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「その他のモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 2 平成 29 年 1～3 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価 (円)
ミャンマー	47,975	61,448	1,281
ガーナ	46,829	70,417	1,504
カンボジア	28,859	48,470	1,680
イラク	25,899	46,079	1,779
タンザニア	18,281	35,260	1,929
UAE	14,500	24,678	1,702
アフガニスタン	13,347	18,152	1,360
イラン	13,312	16,448	1,236
フィリピン	12,562	19,656	1,565
ナイジェリア	10,434	17,185	1,647
その他	30,980	65,591	2,117
計	262,978	423,384	1,610

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 3 に平成 15 年から平成 29 年までの過去 15 年間の毎年 1～3 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は過去 15 年間で 3 番目、総金額も過去 15 年間で 3 番目となっている。平成 29 年 1～3 月の平均 FOB 単価は 1,602 円で、過去 15 年間で 4 番目となっている。

表 2 3 毎年 1～3 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 29 年	757,756	1,214,091	1,602
平成 28 年	777,827	1,460,745	1,878
平成 27 年	803,736	1,436,202	1,787
平成 26 年	729,651	1,075,151	1,474
平成 25 年	722,752	939,012	1,299
平成 24 年	699,859	901,501	1,288
平成 23 年	557,747	743,842	1,334
平成 22 年	555,117	745,569	1,343
平成 21 年	492,380	673,801	1,368
平成 20 年	554,131	928,910	1,676
平成 19 年	386,012	467,747	1,212
平成 18 年	304,033	323,202	1,063
平成 17 年	224,636	256,521	1,142
平成 16 年	236,936	281,915	1,190
平成 15 年	161,964	213,115	1,316

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上